

地域とともに

がんばろう！東北

お問い合わせは
国土交通省
東北地方整備局
三陸国道事務所
地域づくり相談室まで

三陸国道

〒027-0029
宮古市藤の川4の1
tel 0193-62-1711
fax 0193-71-1734

三陸国道事務所のホームページ及びさんこく携帯サイトは

三陸国道  で検索出来ます。



「田老第6トンネル」が貫通しました ～三陸沿岸道路の新規事業化区間で初～

三陸沿岸道路（仙台市～八戸市）を構成する「宮古田老道路」は、東日本大震災後の平成23年度第3次補正予算で、被災した地域の復興リーディングプロジェクトとして新規事業化された区間です。

「田老第6トンネル」は、平成25年7月23日に掘削を開始し、この度、三陸沿岸道路の平成23年度新規事業化区間（11区間148km）で初めて貫通しました。

平成26年3月7日（金）、施工業者 西松建設株式会社東北支店の主催により貫通式が執り行われ、地元の皆様と共にトンネルの貫通を祝いました。

位置図



ひとくちメモ・・・三陸沿岸道路 「宮古田老道路」

三陸沿岸道路「宮古田老道路」は、宮古市松山から宮古市田老を結ぶ、約21kmの自動車専用道路です。

現道の線形不良区間、津波浸水区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により救援物資の輸送拠点となる久慈港と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

貫通式の様子



▲式典には、宮古市長をはじめ地元の自治会長や校長先生など約80名が参加しました



▲貫通発破ボタンを押してトンネルの貫通を祝いました

高速交通ネットワークの形成は宮古市復興に必要な不可欠なインフラ整備です。三陸沿岸道路の工事がかつてないスピードで進んでいることに感謝申し上げます。



▲山本正徳 宮古市長よりご挨拶

着工から7ヶ月で貫通することができました。関係者の皆様、無事故で施工していただいた工事関係者の皆様、ご支援いただいた地域の皆様に感謝申し上げます。



▲工藤栄吉 三陸国道事務所長が挨拶



▲安産や合格の御利益があるとされる「貫通石」が田老第一中学校の菅井雅之校長先生に贈呈されました



万歳！

万歳！

万歳！

▲施工者を代表し西松建設株式会社東北支店 鳴石亭支店長のご発声により万歳三唱し、喜びを分かち合いました